



“そつぎょう” —内城小学校—



第103号

## 主な内容

- おもな審議事項 ..... 2~3  
平成21年度当初予算 ..... 4~5  
いっぽん質問(5名) ..... 6~9  
沖永良部・与論地区議会議員大会 ..... 10

わどまり  
議会だより

### 町の人口

平成21年4月1日現在  
男 3,506人  
女 3,670人  
計 7,176人  
世帯数 3,103戸

発行 平成21年4月25日 鹿児島県和泊町議会  
編集 議会報編集委員会  
〒891-9192 鹿児島県大島郡和泊町和泊10番地  
TEL (0997)92-2569  
FAX (0997)92-3176  
ホームページ <http://www.town.wadomari.lg.jp/>

# 平成21年第1回定例会

**3月3日から3月13日までの11日間**

## 平成20年度一般会計予算

**75億1949万5千円**

## 平成21年度一般会計予算

**79億1945万5千円  
50億6818万2千円**



ひなまつり一大城保育園

住みよいまちづくりをめざして

# 新年度関連議案を慎重審査 II 収納対策課を新設 II

おもな事項

補正予算

◎平成20年度国民健康保険特別会計補正予算（第5号）

特別会計繰出費345  
0万円、財政調整基金  
費3億5000万円の  
増額、地域インフラネ  
ット基盤施設整備事業  
費6861万4千円、  
奄美農業創出支援事業  
費943万1千円減額  
等の予算措置。

## ◎平成20年度一般会計 補正予算（第6号）

歳入歳出予算をそれ  
ぞれ272万3千円減  
額し、予算の総額を10  
億8811万4千円と  
するもの。  
歳出の主なものは、  
総務費、保険給付費、  
保険事業費減額の予算  
措置。

歳出の主なものは、  
定額給付金事業費 1 億  
2 3 8 6 万 3 千円、生  
活対策臨時交付金事業  
費 5 億 2 3 4 4 万 2 千円、  
地域情報通信基盤整備  
事業費 3 億 7 8 6 3 万  
9 千円、国民健康保険

◎平成20年度介護保険特別会計補正予算（第3号）歳入歳出予算をそれ額し、予算の総額を7ぞれ352万7千円増

億2404万1千円とするもの。

04万3千円。

度も10%減額するもの。

大城子ども園を認定子ども園とするもの。

一部改正

歳出の主なものは、総務費、保険給付費の増額等の予算措置。

## ◎介護従事者待遇改善条例の制定

◎平成20年度老人保健特別会計補正予算（第5号）

歳出の総務費に5万円追加し、医療諸費を5万円減額するもので、予算の総額は1億1716万3千円。

## ◎平成20年度下水道事業特別会計補正予算（第4号）

下水道建設費等に240万9千円追加するもので、予算の総額は3億4912万9千円。

## ◎都市公園条例の制定

都市公園の設置及び管理に関する事項を定めるもの。

## ◎課設置条例の一部改正

町税及び税外収入の滞納整理を推進するため、収納対策課を設置するもの。

## ◎町長等の給与の特例に関する条例の一部改正

万7千円減額するもので、予算の総額は2億47維持管理費等147

## ◎平成20年度農業集落排水事業特別会計補正予算（第4号）

歳出の主なものは、総務費、保険給付費の増額等の予算措置。

歳出の主なものは、歳出の主なものは、歳出の主なものは、

## ◎職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

により、「保育手当」を廃止するもの。

## ◎報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

給与制度の見直し等により、「保育手当」を廃止するもの。

## ◎介護保険条例の一部改正

門員及び障害者相談専保健師、介護支援専門員の報酬を、個々の能力や経験に応じた賃金に改正するもの。

大城幼稚園と大城保育所を大城子ども園として一元化することに伴い、大城幼稚園を廃止するもの。

## ◎敬老年金支給条例の一部改正

敬老年金の額を、歳々99歳1万円、100歳以上5万円に変更するもの。

地域情報通信基盤整備事業（二工区）請負契約の改定を行うもの。

## 契約案件

## ◎地域情報通信基盤整備事業（二工区）請負契約の改定

自営柱の新設及び加入申込件数の増加によるもの。

## ◎西日本電信電話（株）との契約金額の改定

西日本電信電話（株）との契約金額の改定

## ◎ねたきり老人年金支給条例の一部改正

鹿児島営業所との契約金額の改定

## ◎町立認定子ども園の運営に関する条例の一部改正

否決

## ◎町立学校設置条例の一部改正

否決

# 平成21年度 当初予算決まる

平成21年度の一般会計及び特別会計予算は、予算審査特別委員会に付託審査され、最終本会議において各会計予算とも原案のとおり可決されました。

**総額77億1262万3千円**

**対前年度比16.1%減の厳しいスタート**

**一般会計予算 50億6818万2千円**

(対前年度比22.8%減)

歳出予算の内訳

(単位:千円)

款	予算額	款	予算額
議会費	92,099	消防費	145,444
総務費	650,209	教育費	457,174
民生費	898,120	災害復旧費	219
衛生費	456,428	公債費	1,116,253
農林水産業費	645,080	諸支出金	2,009
商工費	34,956	予備費	9,568
土木費	560,631	合計	5,068,182

**特別会計予算 26億4444万1千円**

(対前年度比0.6%増)

国民健康保険特別会計予算	10億5938万6千円
老人保健特別会計	1760万2千円
介護保険特別会計予算	7億3810万6千円
奨学資金特別会計予算	820万5千円
後期高齢者医療特別会計予算	7459万7千円
伊延港ふ頭用地造成事業特別会計予算	3010万5千円
下水道事業特別会計予算	2億3879万3千円
農業集落排水事業特別会計予算	2億4997万6千円
水道事業会計予算(収益的事業)	2億2767万1千円

# よりよい“わどまり”をめざして



事業費  
68,100(千円)



事業費  
62,000(千円)



事業費  
50,000(千円)

## 当初予算の主なもの



事業費  
85,867(千円)

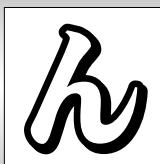
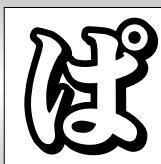
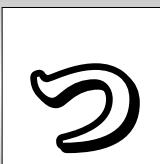
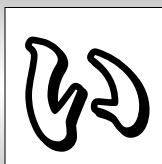


事業費  
425,000(千円)



事業費  
51,644(千円)

## 第1回定例会



—これからどうなる！ 和泊町—

(この質問と答弁は質問した議員が簡潔にまとめたものです)

①行政評価について  
②地域活性化策について  
③職員の危機意識について

**質問** 町長は、一期四年間の成果をどのように評価し、今後どう取り組む考えであるか。



和 正 已 議 員

く決意を新たにしているところです。

**答弁** これまで「町民が豊で自立し安定した生活の確立を目指し、農業の振興、伝統文化の保存継承、教育文化の振興、福祉の充実、安心して住める環境の整備」に努めてきたが、まだ、沖永良部花き流通センターの法人化等課題も山積している。これらを、議会・町民の皆様と一緒に解決し、さらなる「活力と潤いと魅力あふれる花の町」の実現に向け、町民の皆様の信任が得られたら、引き続き全力を傾注し町政を担当していく

**質問** 町長は、一期四年間の成果をどのように評価し、今後どう取り組む考えであるか。

答弁　国の平成20年度  
第2次補正予算において「地域活性化・生活対策臨時交付金制度」が創設され、本町への交付予定額は1億2900万円となつてゐる。

**質問** 地方対策としての臨時交付金をどう活用する計画であるか。



「立候補を表明した伊地知町長」

備、高齢者対策、バス路線維持対策、コミュニティ施設の改修及び学校環境の整備費用等、住民生活の向上と地域の活性化に積極的に取り組んでいく。

意識改革をどう進める考え方であるか。

定額給付金については、  
給付額は一人1万2000円、65歳以上及び18歳未  
満は2万円となつております。  
本町の支給総額は1億1600万円を予定している。  
経済効果については、地元  
で消費されることにより消  
費拡大が図られ、地域振興  
に寄与することが期待され  
るので、商工会とも連携を  
図りながら地元での消費拡  
大につながるよう対策を講  
じていく。

そしてそれを解決し住民サービスの向上につなげていく職員一人一人の資質向上が今後の住民生活の向上につながつしていくものと考える。

併せて、窓口や電話応対等においても誰にでも親切でサービス精神旺盛な職員を目指し指導を強化し、さらに職員教育には今まで以

**村藏議員**

**介護・高齢者福祉と船舶業**

**質問**

職員の発想の転換と  
大につながるよう対策を講  
じていく。

**質問** 介護保険制度見直しの時期にあるが、介護・高齢者福祉はどうなっているか。

## 質問 職員の発想の転換と

併せて、窓口や電話応対等においても誰にでも親切でサービス精神旺盛な職員を目指し指導を強化し、さらに職員教育には今まで以上に積極的に取り組み、意識改革を促していく。

奧 村藏議員

## ①老人福祉サービスの現状

と課題はどうなつてゐるか。

答弁 在宅支援サービスとして、寝たきり老人年金支給、住宅改造事業の実施。一人暮らし高齢者サービスとして、緊急通報システム事業、日常生活用具給付事業等の実施。高齢者の生き甲斐対策として、長寿クラブやシルバー人材センター活動の支援等を行つてゐる。課題としては、敬老年金等の額について見直しをしながら、必要とする分野の支援強化の必要性を感じてゐるところである。

②高齢者福祉事業計画はどうなつてゐるか。

答弁 介護保険計画の3年ごとの見直しにより、新たに「和泊町老人福祉計画及び第四期介護保険事業計画」を策定し、引き続き在宅サービスの充実を図るための諸事業を実施していく。

③第四期の介護保険料はどうなつてゐるか。

答弁 城ヶ丘中学校体育

**質問** 和泊小学校と和泊中学校を除く学校体育館は、建築42年から35年が経過し、老朽化による雨漏りやコンクリートの剥がれ等の発生が見られるが、立て替えを含めた整備計画はどうなっているか。

等の額について見直しをしながら、必要とする分野の支援強化の必要性を感じているところである。

として、緊急通報システム事業、日常生活用具給付事業等の実施。高齢者の生き甲斐対策として、長寿クラブやシルバー人材センター、活動の支援等を行つてゐる。

**答弁** 一月の保険料基準額は4484円となるが、

本町独自の保険料軽減対策事業の創設や、国の「介護従事者処遇臨時特例交付金」を活用し、21年度は4154円、22年度は4212円、23年度は4270円と設定する予定である。

泊港にボーディングブリッジの設置はできないか。

ツジ設置については、外海に面した和泊港は気象条件

答弁 体育館南側の法面  
崩落の危険性と西門から校舎裏側へのフェンスの老朽

**質問**　国頭小学校において、いくつかの危険箇所が指摘されているが、その補修計画はどうなっているか。

力を得ると共に、要望書を提出してある県道西原・国頭間の歩道整備の状況を考

する計画である  
県道国頭・知名線から西門への通学路の安全対策については、現在当該地は変則交差点になつており危険な状況にあるが、関係者で協議を行い、交差点を一ヶ所とし別の町道は歩行者専用道路として、現在行われている県道の改良工事で対応することになつてゐる。  
西門へ至る町道の歩道整備については、地権者の協

## 学校教育施設及び社会体育施設の整備について



平 勝美議員

化については、補正予算に  
計上し平成21年度に整備

慮しながら計画したいと考えている。



「国頭小学校」



## 「貨客とも多い和泊港」

8

質問

町民グランドは、町

民体育の拠点として利用されてい  
るが、駐車場への進入道路や駐車ス  
ペースも狭く、大きなイベントの際は  
支障を来している現状にあ  
る。安全面の対策をどのよ  
うに考えているか。

いる農道整備の完了によつて両方から車の出入りができるため、利便性が高まるものと考えている。

答弁 町民体育館は、平成19年度に屋根補修やアスベス除去工事等多くの予算を投入し維持管理に努めており、当分の間は現在のままで利用していく考えである。また、総合体育館

答弁 農業振興の拠点施設として位置づけ、優良種苗供給、新品目、新品种の技術開発と早期普及に努めていきたいと考えている。

**質問** 町政課題の実現方策について。

七

丁巳四  
重陽

2

町民体育館は、昭和

**答弁** 町民四大運動の一  
つである「健康づくり」を  
より推進する上からも、施  
設整備は重要だと思つてい  
る。町民グランドの駐車場  
については、現在行われて

行事やイベントに利用され  
成果を上げてきた。現在は  
老朽化が進み建て替え期に  
あると思うがその計画はどう  
なっているか。

- ①次期奄振法の見直しについて
- ②農業振興について
- ③町政課題の実現方策について

か。 画はがいのやうになつてゐる

関係機関、団体と協議を重ね、適正な台数確保を図っていく。

②光ネットワークを利用した企業誘致も必要であるが、それ以外の分野に着目する形

A black and white portrait of a man with short hair, wearing a dark suit jacket over a light-colored shirt. The photo is set within a circular frame.

伊集院 德二議員

**質問** 奄振法への取り組みについて。

答弁　国・県・地方といふ流れを見直し、地域の具体的な振興開発を促進するため、地元の発意と創意を活かした振興開発に変わつてきました。

答弁 郡内市町村で構成する分科会を、農業、情報、観光の分野に分け協議し、将来計画にとりまとめるようになつてゐる。

① 本町の農業所得向上について 質問 農業の振興について

「ハーベスターは20台が稼働」  
想を転換した雇用の創出は  
図れないか。  
答弁 地域雇用創造推進  
事業により、雇用創出に必要な人材の育成をはじめ情報の収集に努めながら考えていただきたい。

## ①法の見直しと事業の流れ

## ②奄振法の具体的な事業計

①本町の農業所得向上につながるような実験農場の運営をどう考へてゐるか。

A black and white photograph showing the back of a young child wearing a dark hooded jacket and dark pants, standing in a field of tall, dense grass. To the right of the child is a simple wooden structure, possibly a stall or a small house, with a sign that appears to have some text on it. The scene suggests a rural or outdoor setting.

「ハーベスターは20  
事業により、雇用創出に必  
要な人材の育成をはじめ情  
報の収集に努めながら考え  
ていきたい。  
**答弁**  
地域雇用創造推進

③本町では多くの外郭団体が活動を行っているが、行政内部に事務局をおいているのが現状である。地域活性化や組織強化の面からも、独立した組織運営を検討する

必要があると思うがどう考えるか。

組みを指導していきたいと考えている。



盛 泰夫議員

**①2009年度当初予算について  
②用途地域の見直しについて  
③中学生の頭髪問題について**

答弁 各外郭団体に対し、課題等を把握した上で適正かつ公正な自主運営の取り

**質問 新年度予算編成について**

いて。

①2009年度国の地方財政計画を踏まえ、どのような事業に重点をおいて取り組む考え方であるか。

答弁 少子高齢化社会を迎えており、町単独在宅介護支援事業、介護保険料の町民負担軽減措置、総合相談窓口の強化等高齢者

答弁 平成21年度から、専門的に携わる「収納対策課」を設置し、県や他市町村の徴収対策を勉強しながら、滞納処分等強力に収納対策にあたつていく考えである。

③地方交付税と公債費の動向はどうか。

答弁 平成21年度地方

成事業の拡充や療育センター利用保護者負担金の無料化等福祉の充実を図っていく。

②自主財源の確保にどのように取り組む考え方であるか。

答弁 平成21年度から、前年度比13・7%増の14兆1844億円が確保されており、本町では、地域情勢の大型事業の完了により前年比61%減の4億4200万円を見込んでいる。

地方債計画については、が確保され、本町においては、前年度比1億8200万円増の28億3200万円を見込んでいる。

財政計画における地方交付税は、「生活防衛のための緊急対策」に基づいた地域雇用創出推進費や地方財源充実のための増額等もあり、臨時財政対策債を含めて実質的に20兆9700億円

が確保され、本町においては、前年度比1億8200万円増の28億3200万円を見込んでいる。

答弁 補助金については、第五次行財政改革大綱に基づき平成16年度から見直しを行っている。今後とも、団体加入の是非や住民が受けける行政サービスと負担のバランスを考慮した適正な金額を負担することにより、コスト削減に努めていく。

答弁 補助金については、機関と協議を行い見直しについて検討したいと考えている。

質問 中学生の頭髪の問題についてどのように考えていくか。

答弁 学校が、児童生徒に決まりを守るよう指導することは大切なことであるが、そのことにより人権侵害を受けれるような事例があつてはいけない。また、そういう事例が起こらないよう指導することは、教育委員会の重要な職務である。

現在、頭髪については、

方向性、土地利用の動向を踏まえ、市民の意向調査を行った上で、町としての変更手続きとなるので、関係

保護者の了解を得ず強制的に切らせるような指導は、教育委員会並びに学校もしてはいけない。

今後も、PTAや学校評議員をはじめ各方面から意見を集約し、必要に応じて見直しを行うよう指導していく。



「和泊の商店街」

# 沖永良部・与論地区議会議員大会



とき 平成21年2月5日(木)  
ところ 与論町地域福祉センター

第17回大会は、3町から議会の関係者約50人が参加し、与論町で開催されました。それぞれが直面する問題の解決に向け議題が提出され、禧久伸一郎県議会議員のアドバイスをいただきながら、6月に知名町で開催される群島議会議員大会への提出議題として採択がなされました。

## 《和泊町提出議題》

## ◎奄美海上保安部にヘリ搭載型巡回船の配備について

現在、徳之島、沖永良部島、与論島の南三島の急患搬送には、陸上自衛隊第一混成団（那覇）か、沖縄県の民間医療機関の自主運営から沖縄県の運営に移行したドクターヘリが利用されています。

強風や夜間などの厳しい条件の中で、長距離の飛行を行う我が離島の急患搬送は常に危険な任務にあります。2007年度県内の離島の急患搬送の実績は222件となっています。そのうちでヘリ搬送は195件を占め、内訳は県防災ヘリ54件、鹿屋自衛隊ヘリ73件、沖縄自衛隊ヘリ61件、沖縄民間ヘリ7件であります。

しかし、民間ヘリコプター患者搬送システムは有視界飛行が原則であり、自衛隊としても沖縄地域と奄美は気象条件が異なる場合もあり、気象情報システムが未整備の離島から具体的なデータを得るのは難しく、ヘリの飛行を見合わせる判断をすることもあります。そのようなことから、医療行為の早期開始が必要な急患搬送に支障を来しているのも現実であります。

外海離島にある奄美群島にとって、台風、災害発生時、荒天時等の急患搬送は、厳しい地理的条件もあり現在その対応は非常に困難で、奄美12万人の島民が大変不安に思っているところです。

よく格差社会と言われていますが、離島と本土の医療、命に格差があるってはいけないと思います。命は平等です。

厳しい気象条件の中でも高度な救難技術で救急救命処置をしながら、ヘリコプターによる機動力を最大限に生かし、人命の早期救助に実績のあるヘリ搭載型巡回船を奄美海上保安部に配備していただきたく、特段のご配慮を強く要望します。（抜粋）

## 《知名町提出議題》

#### ◎奄美農業創出支援事業の予算拡大について

## 《与論町提出議題》

## ◎消費税の減免措置について

議會報編集委員長前田  
副委員長宮田  
委員長泉永野  
同委員裕雄秀樹  
平利則勝美

3月議会において、予算や条例など33の議案を可決し新年度がスタートします。議会としても一生懸命努力して参ります。皆様の声を議会へお届けいただければ幸いに存じます。

花便りか届くこの春に  
沖永良部高等学校からも次  
代を担う若者121名が巣  
立つていきました。世界的な  
な不況が駆けめぐる厳しい  
時代ですが、それぞれの夢  
が叶うよう心からのエール  
を送りたいものです。彼ら  
の後ろ盾となるべき私たちも、  
今こそ行政、議会、町民の  
力を結集し沖永良部島の発  
展を目指さなければなりません。

◆編集後記◆